

国内国外 NDF アンケート調査結果

（NDF 取引の現状について）

国内では、アンケート対象行の半数以上がまだ NDF 取引を行っていないが、すでに行っているところの約 9 割は取引ボリュームは増えていると返答。海外も回答行のすべてが同様に答えており、市場規模は拡大している模様。主要取引通貨については国内国外ともウォンと台湾ドル取引が他を大きく引き離していることが確認された。またアジア通貨以外でブラジルリアルが上げられている点も興味深い。今後の NDF に対する取組みも国内の 7 割、海外はすべての銀行が積極的であり、取引方法も国内 7 割、海外はすべての銀行がダイレクト取引とブローカー取引との併用を考えていることがわかった。顧客ビジネスについても国内国外とも減少を指摘するものはなく、今後の展望についても国内国外とも 7 割以上は楽観的であった。

（コンファメーション実務について）

NDF 取引のコンファメーションは、国内の 9 割はレターのみを使っているのに対し、国外では約半数がレターと SWIFT を併用。署名つきコンファメーションの回収率は、国内国外とも實際上非常に低い。国外の SWIFT 利用の場合は比較的高いことが判明。それに対し自行で原則的にコンファメーションを返送するということは、国内国外とも高くない実情がわかった。返送しない理由は、主に返送の必要性及び慣習に関する認識が低いことなどが多く、国内国外ともほぼ同様であった。

（コンファメーションの標準化について）

国内国外ともほぼ 8 割がコンファメーションの標準化に賛成。また ISDA 等のマスターに取り込む方向については、海外の半数の支持に留まり、またこれについては認知度が低いものと思われる。通常、コンファメーション上取り上げられる主要問題項目については、後述するような比較的活発な意見が寄せられた。